

Shin-ya新聞-サブリー

第26号(通算52号)

www.adachishinya.com

詳しい活動は
こちらから



LINE公式
アカウント



～ ご 報 告 ～

1、国民民主党にそのまま残留

私の意思決定は①合流はしない。②新「国民民主党」に入党する。という順序でした。

①と決めたのは以下の理由です。

国民民主党内では国会議員・地方組織共に①衆議院、参議院同時に②綱領や基本理念は対等の立場で合意③参議院での両党の信頼醸成を合流の前提条件としました。つまり、③がなければ①はあり得ず②も不可能ということです。③は参議院の問題ですから参議院の立民、国民の会長間で協議した結果、3月に共同会派はいったん解消し、お互いに独自路線を歩むことで共通点や類似点を見出そうと結論されました。しかし、この結論が無視され、水面下で主に衆議院で合流協議が進められたのです。参議院役員が多くが合流しなかった原因はここにあります。

②何故、国民民主党に残留したのか。

私の立ち位置は今までと変わりません。大分県では社会民主党の支持基盤が大きく、立憲民主党はその社民党や市民連合、時には共産党と非常に近い存在です。社民党の立場を尊重しつつ我々の先輩は中央からやや右寄りまでを包摂する民主党を立ち上げました。私が残留しなければその立ち位置の政党が大分県から消えてしまいます。それは私にはできませんでした。2党が解党してまた2党ができるという訳の分からない合流劇は旧民主党のコップの中の勢力争いに過ぎません。

2、新「国民民主党」で何を指すのか。

今、議論すべきはこの国をどうするか、何をどう変えるかでしょう。

コロナ流行後の経済と社会保障をもう一度考え直すためにも、有史以来のウイルスとの共存社会を早く取り戻すことです。平時対応の感染症法と緊急対応の特措法だけではないコロナ新法を作りたいと思います。

人口減少、借金漬け等、日本の将来は決して明るくはありません。コロナだから仕方がないと言ってよいとは思いません。これ以上借金が出来なくなった時、真っ先に削減されるのは低・中間所得層への給付です。議員もメディアも日本の置かれている現状を正直に伝えていません。それは国政選挙が多すぎて選挙に勝てる政策しか政治家が採らなかったからではないでしょうか。総理の恣意的な解散（7条解散）はなくすべきです。

16年の経験上、日本には二大政党制はなじまないと感じています。政策の競い合いではなく、相手への攻撃に終始してしまうからです。連立の組み換えによって政権を代える、その中核を担いたいと思っています。



足立 信也

足立信也と安心な日本を創る会より

『運命はいつからでも自分の手で自由に変えられる』



後援会会長
原尻 正信

今、時代は大きなうねりをあげて変化していますが、足立信也氏の心は、昔と変わらないと思っています。己を振り返り、新たな目標を掲げ、志を立てるのに絶好の機会です。未来に向けて、希望が持てるような国のあり方を模索していく過程こそが彼の政治家としての心そのものだと思います。

人生はドラマであり、一人ひとりの人はそれを演ずる主役です。なかには「運命は生まれた時から決まっている」と考えている人がいるかもしれません。

しかし私は、自分の心と精神を高めていくことによって必ずや運命を変えることができると信じています。素晴らしい心根というものは、必ず天に通じていくからです。

つまり、自分の心と精神をこうありたいと思うようにつくっていくことで、おのずから、人生がこのようにありたいと思う方向に進んでいき、自分の書いた脚本で主役を演ずることができるのです。

自分を大事に一日一日、一瞬一瞬を真摯に生きていってほしいと思います。そうすることによって、自分を大きく成長させることができるのです。

常におれることなくしっかりとした政策基盤を持ち、確固たる政治理念・信念のもとで活動を続けております。今後、参院幹事長としても更なる飛躍を期待します。

足立信也事務所・秘書のご紹介①

足立信也事務所は大分事務所6名、東京事務所2名、計8名の秘書がいます。今後Shin-ya新聞にて、順次ご紹介いたします。



佐藤 昭生

現在、豊肥地区サッカー協会会長としても将来世代のための活動をおこなっております。

これからも、今までの様々な経験を生かし、地域づくり・人づくりに積極的に参画していきたいと思っております。



馬場 邦夫

団塊世代の皆さん。
熱中症や新型コロナウイルス感染症に
気をつけて、元気でいましょう。

INFOMATION

個人会員募集と更新のお願い

個人会員を募集しています。

事務所の運営費・Shin-ya新聞の発行費などに充てます。皆様の入会をお待ちしております。

入会をご希望の方は、氏名・ご住所・電話番号をTELまたはFAX、メールにてお知らせください。あらためて事務局から、会則・会費納入先などをご連絡させていただきます。

また更新期間をむかえられた方には手続きをお願いしておりますので更新をよろしくお願い致します。

年会費  ¥5,000

公設掲示板のご協力のお願い



ポスターを掲示していただける方を探しています。所有地（空地や畑など）、ご自宅の塀などに設置していただける方がいらっしゃいましたら、事務所までお気軽にご連絡ください。

ご協力宜しくおねがいします。

広報板サイズ 縦：90cm×横：60cm

参議院議員 足立信也事務所 info@adachishinya.com

大分事務所

〒870-0816 大分市田室町1-8

TEL 097-543-8484 FAX 097-543-8488

東京事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1

参議院議員会館613号室

TEL 03-6550-0613 FAX 03-6551-0613